

Even when my job & family tie me to Japan, my heart is always in Kg Buayan

Jimmy, dissolva 2012

私の海外ボランティア活動の原点は、大学在学中の2008年、故川嶋辰彦学習院大学名誉教授主催のタイ北部山村を拠点とした、学習院海外協力研修プログラム（GONGOVA）という活動に参加したことです。GONGOVAの経験は非常に印象深く、その後も何らかの形で、海外ボランティアの経験を積み重ねたい気持ちを持っていました。そんな中、外部の大学院在学中の2012年、お世話になっていた眞嶋先生よりDISSOLVAの話をお聞きして、プロジェクトへの参加を決めました。DISSOLVAでは年長メンバーとして参加しましたが、各メンバーがそれぞれの役割を十分に果たし、チーム全体にまとまりがあったため、私が特に気を遣うことなく、日々ラックスして過ごせたことが今も印象に残っております。また、ブアイヤン村とタイ北部山村の様々な共通点・相違点を見出そうと試みたこと、ダム建設問題等の山村が抱える諸問題について、自分なりの考えをまとめようと試みたこと等も、興味深い経験となりました。



Jimmy in Vietnam... ボルネオから戻って以来、アジアやヨーロッパなどを広範囲に旅しました。

これまでの経験を通じて私が特に大切にしていることは、極力多くの場所に足を運び、多様な経験を積むことです。これまでに30か国以上の国・地域を訪れましたが、紙や映像での情報収集に留まらず、実際に現地足で足を運ぶことで訪問先の理解がより深まること、また現地での多様な経験が、自分自身にとっての財産となることを都度実感しております。

December, Jan. & February

Family, friends and neighbours ... Time to get together!

Events calendar

December: Christmas visitors come to Buayan

お医者さんと教会のボランティアさんが、村人の健康診断をするためにやって来ます。お医者さんたち、山を越え、谷を越え、お越しくださり、ありがとうございます！

January: Time to harvest

ブアイヤン村では田んぼが金色になりつつあります！さあ一緒に、できるだけ多く収穫しましょう...

February: Final Meeting!!

学生たちはこの機会に生物文化遺産の家を建て替えてくれた大工さんたちに感謝します...一緒に食事をして、クイズを楽しみましょう！



Let's cook & eat together online!

Join us now ...

Save Ulu Papar

Buayan-Dissolva Newsletter

What is inside?

屋根の棟高く作業してるのは誰?

page 1

四輪駆動車で屋根用シートを運搬

page 2

DISSOLYMPCSとは?

page 2

こんにちは赤ちゃん!

page 3

ジミーダンスを覚えてますか?

page 4

Changing the roofs... in the sky

2021年10月、生物文化遺産の家の屋根の張替えが始まりました。ブアイヤン村の熟練した大工さんたちは、新しい屋根の棟を高く上げるために軽々と支柱を登ります。半分に割った竹でできていた垂木はすべて無垢材の支柱に置き換えるので、屋根のたるみや崩壊はもう起こらないでしょう。



Why using wood?

竹は持続可能な素材で、DISSOLVAが好んできた建物材です。でも竹材は劣化が早いという難点もあります。木材を使用すると、生物文化遺産の家もより長く、崩壊から免れるでしょう。



Buayan-Dissolva Newsletter is edited by the students, Imelda and Fuyuko, and is published every 3 months on our website, facebook and via our mailing list. Join us now!

Next issue will come out in February 2022. Please send us photographs, comments... Photo credit: Carpenters of Buayan



Dissolva member note 5



New members, new babies

Tamu, DISSOLVA 2021

ドイツ語ドイツ文化学科所属
自然の探検や登山も大好きで、
スカイダイビングもするそう
写真の隣はアリちゃんです！



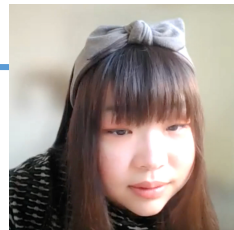
あだ名はTamuです。ドゥスン語でオープンマーケットを意味するようで、現地にちなんだあだ名をつけていただけとても光栄です。私は高校2年生の時から1年間オーストリアに留学していた経験もあり、文化交流にとっても興味がありました。また、大学2年生の時から1年間、再びオーストリアのザルツブルクに協定留学に行く予定でしたが、新型コロナウイルスの影響もあり、惜しくも果たすことはできませんでした。大学3年生の夏、ふとDissolvaのメンバー募集の掲示を発見しました。大学生生活最後になるであろう、海外ボランティア活動や英語使ってコミュニケーションをする機会がぜひ欲しいと思っていたのですぐ応募しました。短い期間のみの参加ですが、大学祭を中心にDissolvaの活動に参加することができて、とても多くの学びがあります。村の皆さん、メンバーの皆さんにお世話になっています。新型コロナの感染が落ち着いたらぜひ現地で皆さんにお会いし、修復された生物文化遺産の家を実際に訪れたいです。

Dissolva member note 6



Keky, DISSOLVA 2021

生命科学科所属、ピアニスト、
そしてドラマーです！ 籐製の
ブアイヤン村製「知恵の輪」
を簡単に解くことができます。



DISSOLVAに参加した理由の一つは、「生物や文化の多様性を守りながら持続可能な経済発展を見据えたボランティア活動」という活動内容に興味を持ったからです。私は、大学の授業で生物について勉強しており、生物の不思議さに魅了される一方、常に人間もあらゆる生き物の一員だということを実感しています。どれほど文化的で便利な生活を送っていても、自然環境のなかに身を置く立場にいるという事実が変わりはありません。ブアイヤン村の方たちとの交流を通して、自然と人間の関係を再認識し、人間の活動を持続可能なものにするには何が必要かを一緒に考えたいです。また、私は中国出身で、小学6年生の時に日本に引っ越しました。地理的には近い場所にある日本と中国ですが、文化にはたくさんの違いがあり、来日した時から日本の文化に溶け込もうと様々な努力をしてきました。文化の多様性に触れた経験を生かして、ブアイヤン村の方たちと交流を深めていきたいです。

Did you know...?

この小さな可愛い赤ちゃんは誰でしょう？ そう、キラちゃんです。今年、ブアイヤン村では多くの赤ちゃんを生まれました。この赤ちゃんたちは、過去にDissolvaの活動に参加したブアイヤン村の若者たちの子どもたちです。ブアイヤン村では、夫婦が結婚生活の中で5人以上、時には10人以上の子どもを持つのが一般的です。だから、村全体がいつも若々しいエネルギーと陽気な雰囲気とで活性化されています！ 高齢化する日本社会と比べて、なんと違うことでしょうか...



News from Kg. Buayan



Children and students enjoy together

Over the top and underneath...

村の大工さんたちは、大きな屋根の傾斜角度がブアイヤン村での風雨の強さに対して緩すぎたため、屋根のなだらかな傾斜面に落ち葉や枝葉が溜まってしまったと判断しました。角度を修正し、古いものと交換するために新しい屋根用素材を町から運び込みます。今回の素材はスパンデックスで、今では多くのボルネオの村で最も人気のある素材です。



News from Kg. Buayan



風船ふくらまし...誰が一番大きく長く持ちこたえるか？



シャトルリフティング...50回打ち上げるのに何秒かかるか？



Fun, fun, festival...!

ブアイヤン村の子どもたちと学生たちが、オンラインで同じスポーツを一緒に楽しめるように、DISSOLYMPICSミーティングが開催されました！ 学生たちは試合のルールを作り、学生対抗の予選試合を撮影して、DissolvaのWebサイトに動画を掲載しました。大会当日は、両陣営で選ばれた選手同士が何種類ものスポーツで競い合いました！

